2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　六甲バター株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　2266　　ＵＲＬ　https://www.qbb.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長兼CEO　　（氏名）塚本　浩康
問合せ先責任者　（役職名）上席執行役員活性本部長　　（氏名）丸山　泰次　　ＴＥＬ　(078)231-4681

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	40,619	－	1,202	－	1,152	－	1,030	－
2025年12月期第３四半期	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　984百万円（－%）　2025年12月期第３四半期　－百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	54.14	－
2025年12月期第３四半期	－	－

（注）2025年12月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2025年12月期第３四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	59,107	32,725	55.4
2025年12月期	60,942	33,325	54.7

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　32,725百万円　2025年12月期　33,325百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	20.00	20.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				30.50	30.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	27.0	1,500	4.5	1,600	20.6	1,400	△5.8	73.52

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	21,452,125株	2025年12月期	21,452,125株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	3,068,728株	2025年12月期	1,969,267株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	19,043,070株	2025年12月期３Ｑ	19,482,897株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ２「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理） …… 7
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られた一方で、中東情勢の影響によるエネルギー価格の高騰などを背景に、継続的な物価上昇等、先行きは依然不透明な状況となりました。

食品業界におきましては、原材料価格や人件費等の高騰により様々な食品の値上げが実施されたことから消費者の節約志向が高まり業界全体として厳しい環境が続いております。

このような市場環境のもと、当社グループといたしましては、チーズ事業において「チーズデザート６P」のテレビコマーシャルなどを通じ需要喚起の対策に取り組んできました。また、原材料の安定調達、経費の削減に努めるとともに、生産効率の向上を目指し生産ラインの安定稼働に努めてきました。ナッツ事業においては、ミツヤグループと新たな市場開拓及び物流の効率化など様々なシナジーの推進に取り組んできました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の業績につきましては、チーズ製品・ナッツ製品ともに販売が増加し、売上高は406億１千９百万円となりました。利益につきましては、前連結会計年度に実施したチーズ製品価格改定による収益改善がある一方、中東情勢悪化等に伴う原材料価格の高騰や為替相場の変動による原価高、人件費などのコストアップの影響により営業利益は12億２百万円となり、経常利益は11億５千２百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億３千万円となりました。

セグメントごとの売上高及びセグメント利益につきましては、次のとおりであります。

（チーズ事業）

チーズ部門につきましては、主力のベビーチーズを中心に家庭用商品の販売が好調に推移、業務用商品についても外食チェーン向けや給食関係などの新規取引開拓に注力した結果、外部顧客への売上高は321億６千８百万円となりました。一方で、前連結会計年度に実施した価格改定による収益改善はあったものの、原材料価格の高騰、想定を超える円安の進行などによるコスト高の影響から、セグメント利益は９億７千５百万円となりました。

（ナッツ事業）

ナッツ部門につきましては、ミツヤグループにおいて引き続き豆菓子・ナッツ製品の販売が堅調であったことから、外部顧客への売上高は83億４千２百万円となりました。一方で、原材料価格の高騰、円安の影響などコスト高の影響から、セグメント利益は２億１千１百万円となりました。

（その他事業）

オーツミルク事業の終了の影響などから、外部顧客への売上高は１億８百万円となり、セグメント利益は１千４百万円となりました。

なお、当社は2025年12月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2026年12月期第３四半期の対前年同期増減率は記載しておりません。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ18億３千４百万円減少し、591億７百万円となりました。資産の変動の主な要因は、「現金及び預金」が51億１千９百万円、「棚卸資産」が５億６百万円、「有価証券」が４億７千２百万円増加し、「売掛金」が65億１百万円、「投資有価証券」が６億１千６百万円、「有形固定資産」が５億４千６百万円減少したことであります。

また負債は、前連結会計年度末に比べ12億３千３百万円減少し、263億８千２百万円となりました。負債の変動の主な要因は、「長期借入金」が８億２千４百万円増加し、「短期借入金」が11億４百万円、「未払費用」が６億２千万円、「建物解体費用引当金」が２億６千２百万円、「買掛金」が２億５千３百万円減少したことであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ６億円減少し、327億２千５百万円となりました。純資産の変動の主な要因は、「自己株式」が11億９千５百万円、「利益剰余金」が６億４千１百万円、「為替換算調整勘定」が９千１百万円増加したことであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年８月13日に公表いたしました通期の連結業績予想数値に変更はありません。今後、業績見通し等に変更が生じる場合には速やかにお知らせいたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,085,220	10,204,816
受取手形	18,603	13,426
売掛金	19,005,253	12,504,093
電子記録債権	238,014	229,545
棚卸資産	6,905,044	7,411,371
有価証券	200,000	672,531
その他	633,670	496,115
貸倒引当金	△20,000	△16,900
流動資産合計	32,065,807	31,514,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,756,980	10,229,935
機械装置及び運搬具（純額）	4,858,601	4,154,097
土地	5,634,300	5,714,036
建設仮勘定	536,034	1,079,886
その他（純額）	123,965	185,154
有形固定資産合計	21,909,881	21,363,111
無形固定資産	651,445	616,384
投資その他の資産		
投資有価証券	3,828,685	3,211,690
関係会社株式	483,513	469,052
関係会社出資金	33,620	33,620
退職給付に係る資産	1,472,533	1,509,884
繰延税金資産	45,380	33,290
その他	463,815	368,225
貸倒引当金	△12,305	△12,305
投資その他の資産合計	6,315,244	5,613,458
固定資産合計	28,876,572	27,592,954
資産合計	60,942,379	59,107,953

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,129,766	5,875,802
電子記録債務	912	1,408
短期借入金	6,756,386	5,652,076
リース債務	97,932	94,650
未払法人税等	230,610	484,425
未払費用	6,209,206	5,588,393
賞与引当金	141,990	191,574
建物解体費用引当金	276,516	13,585
その他	555,708	599,722
流動負債合計	20,399,029	18,501,637
固定負債		
長期借入金	3,774,927	4,599,410
リース債務	558,700	488,234
退職給付に係る負債	1,452,761	1,514,544
役員退職慰労引当金	107,238	23,480
繰延税金負債	957,259	886,616
その他	366,722	368,747
固定負債合計	7,217,608	7,881,032
負債合計	27,616,638	26,382,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,843,203	2,843,203
資本剰余金	2,522,897	2,522,897
利益剰余金	27,839,500	28,480,806
自己株式	△2,317,762	△3,512,879
株主資本合計	30,887,839	30,334,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,919,075	1,848,454
繰延ヘッジ損益	57,164	6,751
為替換算調整勘定	21,490	112,854
退職給付に係る調整累計額	440,171	423,193
その他の包括利益累計額合計	2,437,901	2,391,254
純資産合計	33,325,740	32,725,283
負債純資産合計	60,942,379	59,107,953

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	40,619,786
売上原価	33,441,500
売上総利益	7,178,286
販売費及び一般管理費	5,975,417
営業利益	1,202,869
営業外収益	
受取利息	79,572
受取配当金	109,360
為替差益	24,451
その他	51,316
営業外収益合計	264,700
営業外費用	
支払利息	112,503
関係会社支援費用	137,962
持分法による投資損失	21,303
その他	43,271
営業外費用合計	315,041
経常利益	1,152,528
特別利益	
投資有価証券売却益	493,363
補助金収入	3,314
特別利益合計	496,678
特別損失	
建物解体費用引当金繰入額	4,958
固定資産廃棄損	1,149
特別損失合計	6,107
税金等調整前四半期純利益	1,643,098
法人税等	612,135
四半期純利益	1,030,963
非支配株主に帰属する四半期純利益	－
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,030,963

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	1,030,963
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△70,620
繰延ヘッジ損益	△50,413
為替換算調整勘定	84,522
退職給付に係る調整額	△16,977
持分法適用会社に対する持分相当額	6,842
その他の包括利益合計	△46,646
四半期包括利益	984,316
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	984,316
非支配株主に係る四半期包括利益	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年５月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,099,400株を取得いたしました。当該自己株式の取得により、当第３四半期連結累計期間において自己株式が1,195百万円増加し、当第３四半期連結会計期間末において自己株式が3,512百万円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を用いて税金費用を計算しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は次のとおりであります。

	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	1,675,969千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	チーズ	ナッツ	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,168,852	8,342,737	108,197	40,619,786	－	40,619,786
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,515	161,241	－	170,757	△170,757	－
計	32,178,367	8,503,979	108,197	40,790,544	△170,757	40,619,786
セグメント利益	975,654	211,352	14,708	1,201,715	1,153	1,202,869

（注）１．セグメント利益の調整額1,153千円は、セグメント間の未実現損益の調整等であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。